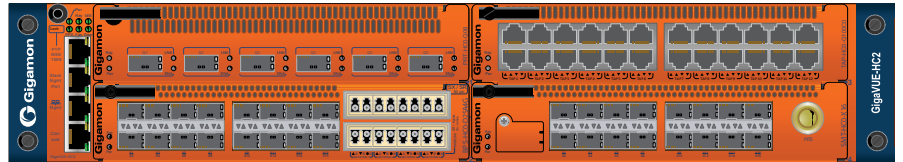


製品概要

GigaVUE-HC2



多用途対応モジュール式ビジビリティ・ファブリック・ノード

TAP、フィルタリング、統合、レプリケーション、インテリジェント・パケット・モディフィケーションなど、可視性の確保に必要なコンポーネントは増加しています。また、ポートの密度と拡張性はすでに標準要件になっていますが、今後もノードの要件は増えるでしょう。GigaVUE-HC2ファブリック・ノードは多用途対応のモジュール設計によってこの課題に対応します。

GigaVUE-HC2ノードではモジュール式の中型フォーム・ファクターでインテリジェントなトラフィック・ビジビリティが提供されるため、企業もサービス・プロバイダーも複雑なネットワーク・ビジビリティの要件に対応できます。

多用途・多目的の設計にポート、バイパス、内蔵TAPモジュール、GigaSMART®パケット操作オプションなどの豊富な機能が組み込まれています。スループットは1Tbを超え、1Gb、10Gb、40Gb、100Gbのポート速度でノン・ブロッキングにも簡単に対応できます。

GigaVUE-HC2ノードは将来のITを視野に設計されているため、ネットワークのニーズの変化に合わせて拡張できます。そのコンパクトなフォーム・ファクターは数千のマッピング・ルールに対応し、業界最高密度のライン・カードが搭載されています。

また、複数のノードを他のGigaVUE Hシリーズのデバイスとともにクラスタリングして、1つの統合ソリューションとして使用できます。トラフィックはクラスタの任意の接続で使用でき、ポートは数千単位に拡張できます。GigaVUE-FMではカスタマイズ可能なダッシュボードとウィザードを使用して、1つのペインからビジビリティ・ファブリックを表示、設定および管理できます。

GigaVUE®ファブリック・ノードを連携させてインテリジェントな統合ビジビリティ・ファブリックを構成し、幅広いネットワーク・トラフィックを集約、レプリケート、フィルタリングおよび変換して、集中管理、監視、セキュリティの適切なシステムに転送できます。

主な仕様

- ✓ 2RUのコンパクトな多用途対応モジュール・シャーシ
- ✓ セキュリティ・アプリケーション用インライン・バイパス
- ✓ 組込型TAP
- ✓ GigaSMARTトラフィック・インテリジェンス
- ✓ クラスタ機能
- ✓ 1Gb、10Gb、40Gb、100Gbインターフェースに対応

機能と特長

- 多目的のモジュール設計により高密度ポート、TAP、インテリジェントなパケット機能を1台のノードに統合し、設備投資費と運用費を大幅削減
- コンパクトな中型フォーム・ファクターに数十のポートを搭載し、省スペース、省電力、省冷却
- 物理と論理のバイパス・モジュールでトラフィックとインライン・ツールを保護して、システム全体を効率化および強化
- ノード内で直ちにバックプレーンに接続される内蔵TAPモジュールで、セキュアなアクセス・ポイントをさらに強化
- インテリジェントなFlow Mapping®により、複雑なトラフィックをワイヤー・スピードで転送
- オプションのGigaSMARTテクノロジーによる豊富な機能とアプリケーション（GTP Correlation、FlowVUE、重複排除、アダプティブ・パケット・フィルタリング、スライシング、ヘッダー・ストリッピング、マスキング、SSL復号化、高度なトンネリングなど）を活用したパケット・モディフィケーション

使用事例

- TAP/SPANポートを共有する複数のグループ全体の可視性を必要とするデータ・センター環境
- ビッグ・データの課題に直面しているTelco 4G/LTE環境
- 複雑なインフラストラクチャを監視している大学や研究機関
- 国家機密の情報を保護する政府機関
- SSL復号化が必要とされる保護された環境
- 高度な医療システムを保護しながらコンプライアンスを監視する医療系IT組織
- 頻繁に改定される規制を遵守し、顧客ベースを拡大する金融機関
- プロアクティブな監視を可能にする高度な可視性が必要とされるインフラストラクチャ

GigaSMARTテクノロジー

GigamonのGigaSMARTテクノロジーではプラットフォームベースのアーキテクチャ・アプローチで監視とツールの性能が強化されるため、ビジビリティの課題を包括的に解決できます。また、多様な機能を通してトラフィックを変更、操作および変換して、管理、監視、セキュリティのツールに転送できます。



- ✓ アダプティブ・パケット・フィルタリング
- ✓ 重複排除
- ✓ FlowVUE
- ✓ GTP Correlation
- ✓ ヘッダー・ストリッピング

- ✓ 負荷分散
- ✓ マスキング
- ✓ NetFlow Generationとメタデータ生成
- ✓ パケット・スライシング

- ✓ ソース・ポート・ラベリング
- ✓ SSL復号化
- ✓ タイム・スタンプ
- ✓ トンネリング